

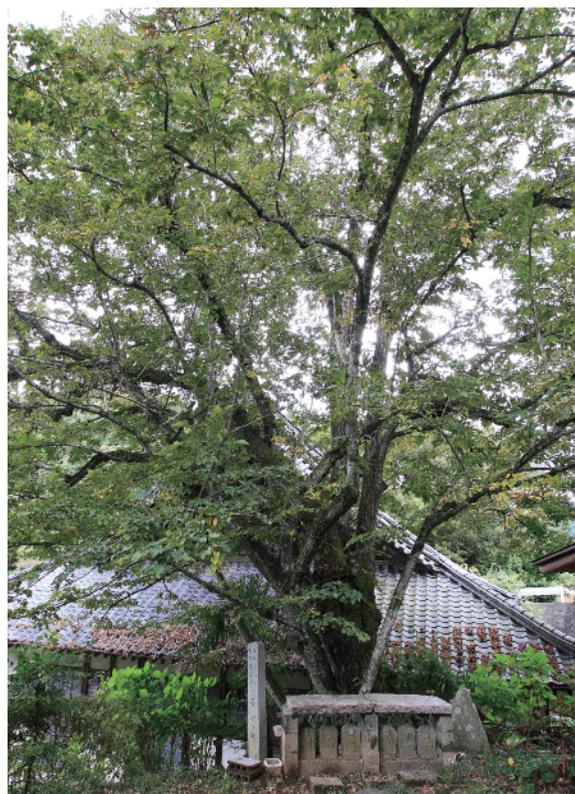
ボダイジュ

●所在地／中山町出瀨門前 盛景寺 ●所有者／盛景寺

シナノキ科。根回りは 320cm、幹周胸高は 190cm、樹高 25m の巨木である。根元近くから幹が 4 本に分かれている。

寺伝によると天平 13 年 (741) 行基によって手植えされたとも、法灯国師が建長 6 年 (1254) 中国から持ち帰り、荒れ果てた行基の遺跡を復興して植えたとも伝えられる。建長年代から数えれば約 750 年の樹齢と推定される。

ボダイジュは中国中部の原産で、仏教の聖樹としてよく寺院に植えられる落葉高木である。開花期は 6、7 月、大きさ数 mm 5 枚の淡黄色の花弁があり、



芳香を發する。枝先に数個から数十個がまとまり、その元には一枚の苞葉 (長さ 10cm、内外) があって、種子 (果実) の風による散布に役立っている。

なお、仏教で釈迦の入滅にかかわる菩提樹はクワ科のインドボダイジュで、イチジクと近縁の高木である。